

皆さん、明けましておめでとうございます。

この年末年始、穏やかな気候に恵まれて、この清々しい新年をご家族、ご親族の皆様と一緒に迎えられたことと思います。心からお慶びを申し上げます。

私自身も、年末年始、ゆっくりと休ませていただきました。

年末には、島前において唯一の携帯電話の販売店が閉まるというお話もあり、そして年明けには、東京で過ごした時間がありましたけれども、1月3日に京王百貨店で、この松江市内のセレクトショップの事業者さんが、靴売り場のところで店を出されて、私が訪れたのは3日でありましたけれども、2日から、この1週間ほど店を出されて、売り場でご主人が一生懸命靴を売っておられましたけれども、お話を伺いますと、これから3ヶ月かけて、三重に行ったり関西に行ったりして、松江に戻られるというお話でありました。

県内の事業者の皆さんが、県外へ出て、一生懸命、年初から仕事をしておられるという姿にも、本当に心を打たれる思いでありました。

そういった、人口減少の厳し目、また厳しい中で一生懸命がんばっておられる県民の姿を拝見する、ある意味、貴重な経験をさせていただいたところでもあります。

昨年は、「平成」から「令和」と元号が変わりまして、ほぼ時を同じくして、私、県知事に就任をさせていただきました。

この、県知事として、この島根の人口減少対策に、より力強く進めていくための「島根創生計画」の策定にとりかかる、という意味で、忘れられない1年になりましたし、各部署の皆さん方にも、これまでにない、いろんな仕事をしていただいて、助けていただきました。

ともかく、この、島根のすばらしい自然と歴史、そして豊かな、この地域社会の助け合いの、この絆の強いこの島根の豊かな暮らしを若い世代の皆さんに引き継いでいくために、人口減少に歯止めをかける、その対策をより一層強化していく、ということで、取り組んでいるわけですけれども、本年は、この「島根創生計画」の取りまとめを年度内に行っていく、という大きな括りの年になりますし、併せて、その計画に合わせた、令和2年度の予算の編成、そして、その執行を行っていただく年となります。

1月には、15日から「出雲と大和」展が、東京上野の東京国立博物館で開催をされます。

「心御柱（しんのみはしら）」「宇豆柱（うづばしら）」が一同に東京に移って、この首都圏の皆さんに見ていただく、東京を訪れられる、恐らく、海外の皆さんにも見ていただく、というこの貴重な機会になりますし、4月には日本橋から移ります「日比谷しまね館」が開館する予定になっております。

そして、5月の末には、天皇皇后両陛下をお迎えして、島根の循環型林業を大いにアピールできます、第71回の「全国植樹祭」が予定されているところであります。

全国的には、オリンピック・パラリンピックの開催年となりますけれども、その前に、島根が、この全国、また、首都圏で大きく、この存在をPRできる、貴重な機会をいただいているところであります。島根の歴史、文化、そして暮らしの素晴らしさ、というところを、改めて

全国の皆さんに知っていただく機会でありますので、これに全力を尽くしていきたい、というふうに思っているところであります。

「島根創生計画」の取りまとめにあたりましては、いろいろなご指摘というのもいただいているところでありますので、そういったことを踏まえて、丁寧な説明で理解を求めていただきながら、より良いものに仕上げていくということ、に意を尽くしていきたいというふうに思っておりますし、これから、最終、予算編成において、この計画の段階でまだ詰め切れていなかったところの最終の詰め、工夫を盛り込んでいって、この最大限の効果を引き出せるように、最後の取りまとめをしていただく必要がございますし、その執行において、この効果が最大限に引き出せるような、この準備も進めていただく必要があります。

そして、併せて、職員の皆さん方には、「働き方改革」にも取り組んでいただいているところでありますし、いろんな事務事業の見直し、業務の削減をすることで、この島根の一財、事業所として、この仕事の成果を高めながら、そして働き方を、改めてですね、このワークライフアンドバランスを、実現をしていく、ということにも併せて取り組んでいきたいと思っております。

そういった意味で、管理職の皆さん方には、このように、難しい仕事をしていただきながら、この仕事のやり方の効率化を併せて進めていただく、そして、この職場の、職員の皆さん方と一緒にそういった体制を組んでいただく、ということで、この二重の意味で、この工夫を求められるわけでありましてけれども、これは、島根の置かれている状況、そして、わが国が置かれているこの働き方の状況、それから求められる欠かせない課題でありますので、この二兎を追う形で、この仕事を進めていきたいというふうに思っております。

そういった両面の取組、いずれも、この県知事であります私、また、部長さん方、管理職の皆さんだけではとても実現できない内容でありまして、一生懸命、額に汗してがんばっておられます県民の皆さん方の生活を、少しでも、一歩でも二歩でも、良くしていくために何をしていくべきか、ということをお職員の皆さんが一丸となって考えて、全力で取り組んでいくということが必要になってまいりますので、今年一年につきましても、職員の皆さん方のご奮闘、このご尽力を強く期待するところであります。

私自身も、若干、これまでよりも、外に出る機会が多いわけでごございますけれども、部局長さん方、課室長さん方との意思疎通をできるだけ綿密にいたしまして、手戻りの少ない、効率的な、この仕事の成果を実現していきたいというふうに思っておりますので、この県職員の皆さん方全員のご奮闘、ご理解ご協力をこの場をお借りしてお願いを申し上げます。

そして、結びになりますけれども、この一年が、島根県政、島根県民の皆さんにとって、非常に大きい一年になりますこと、そして、職員の皆さんにとりまして、この仕事のやりがいを持って、この成果のあがる一年であって、そしてご健勝にてご活躍いただきますことを心からご祈念申し上げます、念頭にあたりましての挨拶とさせていただきます。

本年一年、皆さん、よろしく願いいたします。